

飯田市(北陸・中部ブロック)

【2期 計画期間 平成26年4月～31年3月】

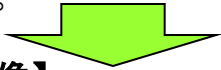
- ・1600年頃、現在に至る町割が完成し、伊那谷の政治・経済・文化の中心となる。
- ・昭和22年の大火により市街地の約7割を焼失。大火復興土地区画整理事業等により、中央公園・並木通り・通り町の防火帯や裏界線などを整備。
- ・昭和28年、後に飯田市民の心のシンボルとなる「りんご並木」が誕生。
- ・現在は、人口約10万人、市域約659km²。

【1期計画の概要】

○市街地再開発事業など大型事業を実施してきた旧基本計画の成果と課題を踏まえて、「都市経営—再生へのマネジメント」を基本理念とし1期計画を実施。(H20～H25年度)

【中心市街地の変化】

- 目標指標の土曜日の歩行者・自転車通行量は達成しなかったものの、平日の歩行者・自転車通行量は着実に増加してきている。
- 中心市街地の都市福利施設利用者は増加しており、市民アンケートが示すように、この5年間で中心市街地活性化を大切と思う人が増加した。
- リニア中央新幹線長野県駅が中心市街地の4km程離れた郊外に設置されることが決定し、今後は、リニア中央新幹線開通を見据えて、飯田市の中心拠点としての中心市街地の魅力や求心力を高めていく。



【目指す中心市街地像】

- 【交流】歩いて楽しい潤いと安らぎに満ちた空間の創出
- 【産業】知財・ソフト・デザインなど新たな産業分野と人材の誘導
- 【居住】低炭素で魅力ある都市基盤(住まい・オフィス・乗り物)づくり

【1期計画の数値目標】

目標	指標	基準値(H19)	目標値(H25)	最新値(H24)
人々の交流によるにぎわいの回復	歩行者・自転車通行量(土曜日)	7,000人/日	9,000人/日	7,520人/日
環境に配慮し安心安全な暮らしの実現	都市福利施設の利用者数	77,000人/年	93,000人/年	112,187人/年

【2期計画の数値目標】

目標	指標	現況値(H24)	目標値(H30)
人々の交流によるにぎわいの回復	歩行者・自転車通行量(土曜日)	7,500人/日	8,600人/日
	歩行者・自転車通行量(平日)	9,300人/日	10,300人/日
地域の魅力再発見による文化的な暮らしの創造	文化・交流施設の利用者数	264,000人/年	290,000人/年
環境に配慮し安心安全な暮らしの実現	都市福利施設の利用者数	112,000人/年	123,000人/年

人々の交流によるにぎわいの回復

- 【主要事業】
- ・駅周辺及び駅前ストリートの整備事業
 - ・りんご並木周辺商業施設等整備事業
 - ・りんご並木賑わいづくり事業
 - ・中央公園の再生・整備事業
 - ・桜並木整備事業
- など

地域の魅力再発見による文化的な暮らしの創造

- 【主要事業】
- ・文化的・商業的イベント実施事業
 - ・菱田春草生誕地整備活用事業
 - ・地域ミュージアムを活用したまちづくり事業
 - ・扇町公園整備事業
- など

環境に配慮し安心安全な暮らしの実現

- 【主要事業】
- ・まちなか健康福祉拠点活用事業
 - ・環境配慮型まちづくり事業
 - ・まちなか住宅開発事業
 - ・旧飯田測候所活用事業
 - ・東栄公園整備事業
- など

飯田市中心市街地活性化基本計画の事業概要

目標1 人々の交流による
にぎわいの回復のための事業

① 駅周辺及び駅前ストリークの整備事業

観光誘客拠点として、観光情報案内所、店舗等誘客施設、駐車場等を整備する。



② りんご並木周辺商業施設等整備事業

りんご並木周辺の空き店舗等を意欲ある民間事業者とマッチングさせ、賑わい回復に取り組む。



③ りんご並木賑わいづくり事業

りんご並木歩行者天国等のイベント、魅力資源の発掘、マップ作成や情報発信等を推進する。

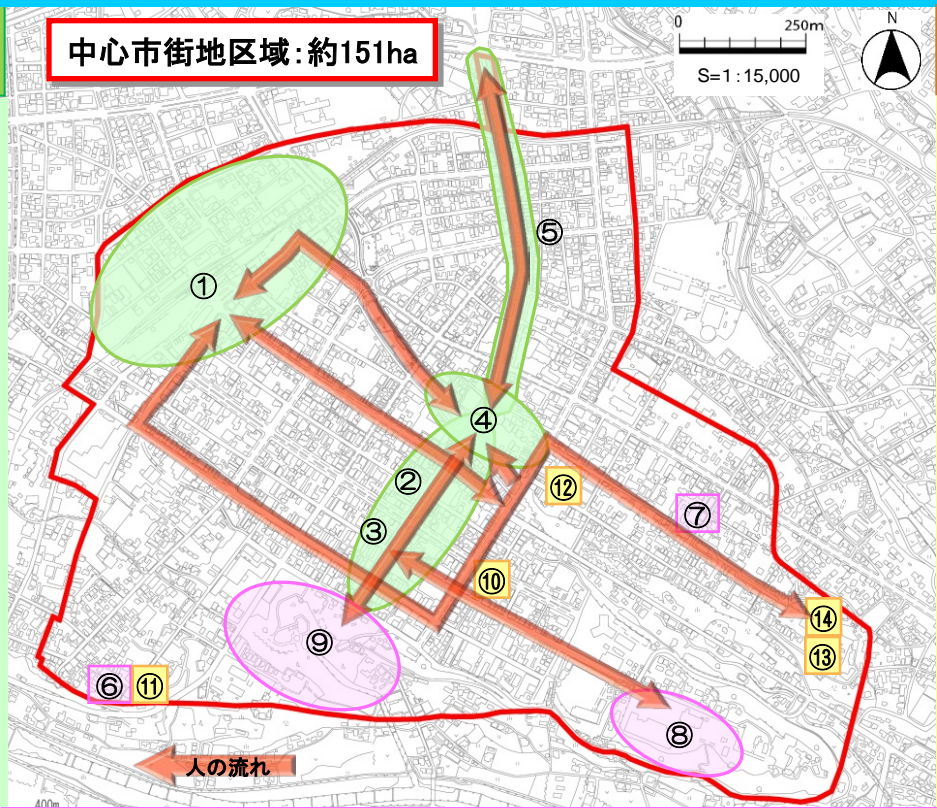
④ 中央公園の再生・整備事業

老朽化した中央公園を再整備し、集客・交流の空間を整備する。



⑤ 桜並木整備事業

「桜並木」の保全と歩きやすい歩道を整備する。



目標2 地域の魅力再発見による文化的な暮らしの創造のための事業

⑥ 文化的・商業的イベント実施事業

やまびこマーチ、オーケストラと友に音楽祭、獅子舞フェスティバルなどのイベントを開催する。

⑦ 菱田春草生誕地整備活用事業

明治時代の日本画家菱田春草を顕彰する小庭園を生誕地に整備する。



⑧ 地域ミュージアムを活かしたまちづくり事業

デジタルプラネタリウムを活用しオリジナル番組等の製作を行う。

⑨ 扇町公園整備事業

老朽化した動物園の再整備により、園路のユニバーサルデザイン化や動物の「生息環境展示」等を充実させる。



目標3 環境に配慮し安心安全な暮らしの実現のための事業

⑩ まちなか健康福祉拠点活用事業

銀座堀端ビル等を拠点として、高齢者の生活支援、地域住民の健康福祉、子育て支援を行う。

⑪ 環境配慮型まちづくり事業

環境モデル都市として、再生可能エネルギーの活用や建築物の省エネ化など環境に配慮した事業を推進する。

⑫ まちなか住宅開発事業

環境に配慮した低層を含む優良な集合住宅等を整備する。



⑬ 旧飯田測候所活用事業

旧飯田測候所の歴史と飯田市における環境政策情報発信及びコミュニティ活動の拠点として活用する。



⑭ 東栄公園整備事業

旧飯田測候所に隣接する東栄公園の再整備を行い、憩いや交流空間を創出する。